季刊エコパルなごや　第96号　令和2年10月発行　発行／名古屋市環境学習センター　名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階

エコパルなごや

秋号 Vol.96

かんきょうをたのしく学ぶ

特集 「環境」、「社会」・「人」にやさしい消費について考えてみよう!!

わたしたちが、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンターなどのお店に行くと、棚にはいろいろな商品が並んでいます。わたしたちは、暮らしの中で食べもの、衣類などいろいろな商品やサービスを購入しています。

みなさんは何を考えて商品を選んでいますか。これらの商品は、国内や世界のどこかで、だれかが作り、お店まで運んできてくれたものです。それがどこで作られ、どのように運ばれてきたかを知らないことが多いと思います。商品を作る時に自然を壊していたり、世界のだれかが苦しんでいるかもしれません。

わたしたちは、いろいろな国や人々のお世話になり、地球からのたくさんの恵みを受けて暮らしています。購入する商品やサービスの向こう側を想像してみるなど、環境、社会・人にやさしい消費行動について考えてみましょう。

いろいろな話題をお届けします。

特集 「環境」、「社会」・「人」にやさしい消費について考えてみよう!!

エコパルNEWS なごや環境大学 特別ワークショップ、マンスリー企画展示

どうして「環境」、「社会」や「人」にやさしい消費行動が必要なの？

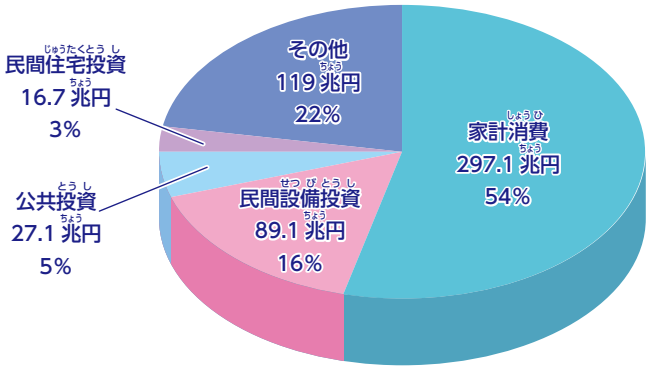
気候変動や資源の枯渇、海洋プラスチックごみ問題など、今日のわたしたちが直面している環境問題は、地球の環境よりも経済を優先する考え方で、大量生産、大量消費、大量廃棄型の経済活動を行ってきたことが一つの原因になっているといえます。

地球温暖化に関係があるといわれる二酸化炭素の排出量も、その約15%が家庭部門から出されていたり（2018年度間接排出量）、世界の食糧援助量を上回る約640万トンの食品ロスの半分近くが家庭から排出され、2018年の日本の名目国内総生産（GDP）に占める家計消費の割合は5割を超えています（右の円グラフ）。

このようにわたしたちの行動は、地球の環境だけでなく、社会や経済にとても大きな影響を与えています。

したがって、わたしたちは、商品やサービスを選ぶ時に、地球の環境や社会のことを考えて行動することが重要になってきています。

名目国内総生産（GDP：548.9 兆円）の割合

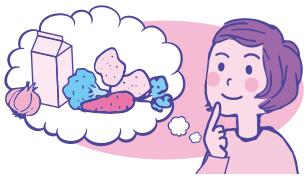
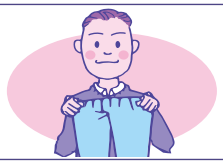


（備考）
1. 内閣府「国民経済計算」により作成。2018年10-12月期2次速報値(2019年3月8日公表)。
2. 「その他」は、対家計民間非営利団体最終消費支出、政府最終消費支出、在庫変動及び純輸出の合計。
3. 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

「環境」に配慮した消費行動　～グリーン購入を心がけます～

消費者が買物の時に、まず必要かどうかを考えて、必要な時は環境のことを考えて、環境への負荷ができるだけ小さいものを買うことが「グリーン購入」です。

消費者が環境に配慮した消費行動をすることで、事業者に環境負荷の少ない商品の開発を促し、経済活動全体を環境配慮型へ変えていきます。

買う前に	**必要かどうかを考えます** ◎本当に必要かどうかを考えます ◎買う量を減らすことを考えます ◎もらいすぎていないか考えます ◎エネルギーをできるだけ使わない移動を考えます 
買う時に	**環境を考えて作られたものを選びます** ◎原材料がリサイクルされている商品を選びます ◎環境ラベル（＊）の表示がある商品を選びます ◎低農薬や無農薬、有機肥料で育てた材料を使った品物を選びます ◎旬や地場の食材を選びます
使う時に	**長く大切に使えるものを選びます** ◎買い替え回数や電気代が少なくなる省エネ型の製品を選びます ◎身長や体型に合わせた形の調節や中身がアップグレードできるものを選びます ◎リフォームなどで長く使うことができるものを選びます 
使い終えたら	**ごみが少なくなるものを選びます** ◎過剰包装されていない商品を選びます ◎中身を詰め替えることができる商品を選びます ◎マイバッグやマイボトル、リユースびんを選びます ◎素材ごとに分別しやすく、材料にリサイクルできる材料を使った商品を選びます

（環境省ウェブサイト、東海三県一市グリーン購入キャンペーン実行委員会の資料から作成）

＊環境ラベルとは、製品やサービスの環境側面について包装ラベルなどに書かれたシンボル又は図形・図表を通じて購入者に情報提供する物を幅広く指す用語

環境ラベルの一例　MSC認証「海のエコラベル」
海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物

FSC® 森林認証
適切に管理された森林資源を使用した商品

「社会」や「人」に配慮した消費 ～フェアトレード商品を選びます～

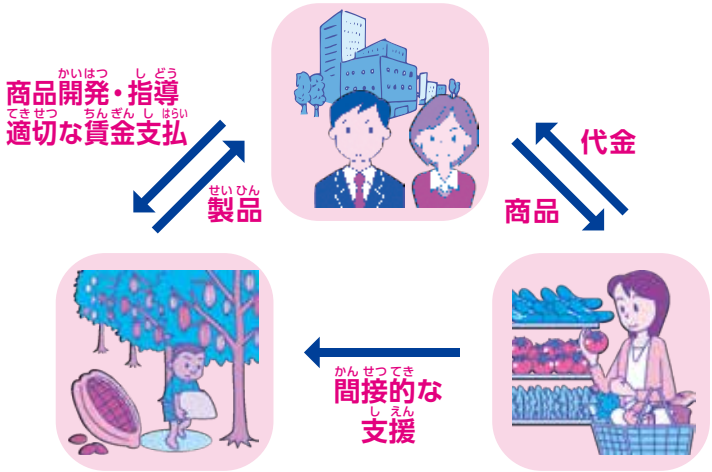
《「フェアトレード」とは》

わたしたちが原料や製品を安く大量に手に入れることが、開発途上国で多くの人が低い賃金で働き、貧困に苦しむ一つの原因となっています。また、生産性を優先して必要以上に多くの農薬が使用されて土壌が汚染されたり、生産する人の健康被害が発生したり、森林を伐採することで自然環境を破壊するなどの事態が起こっています。

フェアトレードは、身近な買い物を通じてそうした問題を解決する仕組みで、途上国の製品や原料を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立につながります。

フェアトレードの仕組み

フェアトレード団体・企業
- 生産者と一緒に商品を開発し、技術指導
- 売上げを再び生産者への支援活動や商品の仕入れ資金として使い、継続的に支援



生産者
- 適正な収入が得られ、生活が向上
- 子どもの教育や地域の環境を改善
- 仕事の知識や技術、環境保護などの学習

消費者
- 良い商品を適正な価格で購入

「はじめませんか？エシカル消費（監修　山本良一東京大学名誉教授）」から作成
消費者庁イラスト集より

FAIRTRADE

国際フェアトレード認証ラベル

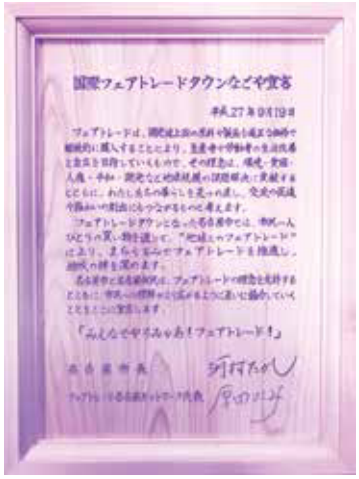
フェアトレードには、個々の商品に張り付けて、その商品がフェアトレードの基準に合った方法で作られていることを保証するラベルがあります。国際フェアトレード認証ラベルもその一つです。

《フェアトレードタウンとは》

行政、企業、商店、市民団体が一体となってフェアトレードの考え方を支持し、運動の輪を広げるために取り組んでいる都市のことを「フェアトレードタウン」と呼んでいます。

2015年9月に名古屋市は、日本で2番目の「フェアトレードタウン」に認定されました。

現在は、日本には6都市、世界には2,000以上のフェアトレードタウンがあります。



＜みんなでやろみゃあ！地球とのフェアトレード!!＞

「想像しよう」～暮らしとのかかわり～

開発途上国と公平に取引することを指して「フェアトレード」という言葉を使うのが一般的ですが、今後は、その言葉の意味を広く『エシカル』な考え方でとらえ、地域の特産品や多様な生命にとって大切な水や森などの自然に対してもフェアに取引することで、持続可能な未来を創る「地球とのフェアトレード」を進めることが求められています。

「選ぼう」～フェアトレード商品～

開発途上国から正当な価格で取引されたコーヒー、チョコレート、スパイスの他にアクセサリーなどがあります。フェアトレードタウンとなった名古屋市内では約360のお店で取り扱われています。

2016年から毎年5月には市内の全小学校でフェアトレード商品を使用した献立を提供しています。

「理解しよう」～フェアトレード関連の講座やイベント～

世界中でフェアトレードをアピールする「世界フェアトレード・デー」のある毎年5月はフェアトレード月間です。

「世界フェアトレード・デー・なごや」や「なごや環境大学」の講座などに参加して、フェアトレードへの理解を深めましょう。

「エシカル消費」って知っている？

《エシカル消費とは？》

「エシカル」とは「倫理的な、道徳的な」という意味です。「法律で決まっているわけではないけれど良識的に考える」という社会的な模範のことです。

一般社団法人エシカル協会によると、『人と社会、地球環境、地域のことを考慮してつくられたモノ』を購入・消費することが「エシカル消費（倫理的消費）」です。

この倫理的な消費には、今まで見てきた環境に配慮した消費行動、社会や人に配慮した消費行動だけでなく、台風で傷ついたリンゴなど自然災害にあった産品を積極的に購入するなど、「地域」に配慮した消費行動も大切な視点といえます。

《エシカル消費を意識すれば社会的課題の解決につながります》

今日では社会・経済活動がグローバル化し、消費者は世界中の商品やサービスが容易に手に入り、消費できるようになりましたが、手元に届く商品やサービスがどのような生産・流通の過程を経ているのか、消費した後の廃棄の過程がどのようになっているのか見えにくくなっています。

そこで、商品がどこで作られたのか、どのように作られたのかなど、モノのライフサイクルを「見える化」することが必要になってきています。消費者が、商品やサービスを選択するときの基準として、これまでの「安全・安心」、「品質」、「価格」だけではなく、「環境に配慮しているかな」、「人にやさしいかな」といった「エシカルな視点」を加えることで、社会的な課題や環境問題の解決につながることができるのではないでしょうか。

わたしたち消費者は、「エシカル消費」でどんなことが応援できるでしょうか。

例示：チョコレートを買う時の「エシカル的な視点」

美味しい

値段がお手頃

包装がかわいくてキレイ

＋

「国際フェアトレード認証ラベル」などの環境ラベルがついている

- 生産者に適正なお金が支払われている
- 子どもたちの教育が守られている
- 産地の環境や生産者の健康が守られている

「環境」に配慮した消費

- グリーン購入
- 環境ラベル製品（エコマーク、PETボトルリサイクル推奨マークなど）

「社会」や「人」に配慮した消費

- フェアトレード商品
- 売上金の一部が寄付につながる寄付付き商品
- 障がいのある人の支援につながる製品（福祉作業所で作った雑貨やパンなどの購入）

「地域」に配慮した消費

- 地域活性化のためなどの地元の産品
- 伝統工芸品
- 被災地の経済復興を支援するための特産品

エコパルNEWS

特別ワークショップ

「木の実などを使ったツリー・リースづくり」

日　時 ①10月25日(日)、②11月22日(日)、③12月20日(日)
各日　ツリーづくり 13：00 ～ (各45分程度)
リースづくり 14：00 ～ (各45分程度)
※各日とも同一の内容です。※グルーガンを使用します。

対　象 小学生以上(小学生の方は保護者同伴)

定　員 各15名(先着申込順)※10月11日(日) 9：30～受付開始

費　用 1作品　500円

内　容 リスの生息する東谷山の森などで集めた木の実を使って、ツリーやリースを作ります。

講　師 守山リス研究会

「自然木を使ったトナカイづくり」

日　時 12月13日(日)　10:30 ～ 11:10、13:00 ～ 13:40

対　象 3歳～小学生　親子参加OK
(小学３年生以下の方は保護者同伴)

定　員 各15名(先着順)※11月17日(火) 9:30受付開始

費　用 500円

内　容 自然の木を使った工作教室。
手のひらサイズのトナカイを作ります。

講　師 もくもく楽舎　たけちゃん工房

藤前干潟ふれあい事業のご案内

(1)「ひがたにくるトリ、どんなトリ？」

日　時 11月14日(土)　13:30 ～ 15:30

対　象 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

定　員 20名（応募者多数の場合は抽選）

締　切 11月3日(火・祝)

内　容 楽しいトリのお話とトリのミニ模型の色塗りを体験できます！

会　場 稲永ビジターセンター（名古屋市港区野跡4-11-2）
あおなみ線「野跡」駅または市バス「野跡駅」バス停下車徒歩15分。駐車場有。

(2)「今、海で起きていること『海ゴミと海の生きものの話』」

日　時 11月28日(土)　13:00 ～ 15:00

対　象 中学生～高校生

定　員 15名（先着順）

申　込 11月11日(水)　9:00 ～ 25日(水)

費　用 無料

内　容 藤前干潟の海ごみの現状や減らす取組、干潟の生きものたちとごみとの関係を学べます！

会　場 環境学習センター　エコパルなごや

申込方法 メール、電話、FAXにて各々の申込先へ下記①から④の事項をお伝えください。

必要事項 ①催し名　②参加者全員の氏名（小学生の場合学年も記入）　③電話番号（日中連絡のとれる番号）　④住所

申込先 (1) 藤前干潟ふれあい事業実行委員会
〒460-0008　名古屋市中区栄1-23-13　伏見ライフプラザ13階エコパルなごや内
TEL 052-223-1067　FAX 052-223-4199　Eメール a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
(2) 環境省名古屋自然保護官事務所
TEL 052-389-2877　FAX 052-389-2878　Eメール WB-NAGOYA@env.go.jp

マンスリー企画展示

10月テーマ　家電リサイクルに関する展示

出展者
グリーンサイクル株式会社

内　容
家庭や事業者から排出された家電製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機）から有用な部分や材料をリサイクルし、廃棄物の減量と資源の有効活用例の展示を行います。

11月テーマ　「なごやのざんねんじゃないいきもの」～エコパル出張編～

出展者
なごや生物多様性センター

内　容
「名古屋市版レッドリスト2020」の改訂にあたり、市内の希少な生きものの中から、鳥とカメのユニークな生態を紹介します。

12月テーマ　3R＋もうひとつのRごみ削減啓発

出展者
花王カスタマーマーケティング株式会社

内　容
4つのクイズに答えて頂きながら、“ごみを削減することの大切さ”を自分事として認識し、実践につなげてもらうための展示を行います。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定が変更・中止になる場合があります。最新の情報は、エコパルなごやのホームページをご覧ください。

なごや環境大学

「なごや環境大学ガイドブック2020後期号」配布＆ウェブサイト公開中！

子どもも大人も気軽に参加できる環境講座が開講されています。自然体験、工作、ワークショップから自宅で学べるオンライン講座までいろんな講座があります。詳しくはウェブサイトや無料配布中の「なごや環境大学ガイドブック2020後期号」をご覧ください。

「なごや環境大学」実行委員会事務局（エコパルなごや内）

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階
〈TEL&FAX〉052-223-1223
〈E-mail〉jimu@n-kd.jp 〈HP〉https://www.n-kd.jp

配布場所

- 名古屋市内の各区役所
- 図書館
- 生涯学習センター
- スポーツセンター等

SDGsオンラインセミナー 2030年の先をみつめる人々

なごや環境大学には、持続可能な社会の実現を目指して活動している人々が集っています。2030年目標のSDGｓのさらに先の未来を見据えて、さまざまな活動をされている方々からその取組みをご紹介いただく、全10回のオンラインセミナーを開催します。

第1回　「木のイノベーションで森とまちの未来をつくる」

自然環境社会・低炭素社会・資源循環社会の実現に向けて、木造木質建築の技術革新と「森林グランドサイクル」で持続可能なまちづくりを考えます。

日　時　10月23日(金)　13:00～14:00
講　師　河崎　泰了
（株式会社竹中工務店　木造・木質建築推進本部 営業・プロモーショングループ　副部長）
申込期限　10月19日(月)

第2回以降の講座情報はなごや環境大学ＨＰをご覧ください。

会　場　オンライン
参加費　無料
受講形態　座学、全10回、個別受講可
対　象　一般・大学生
定　員　各100名

申込方法　Eメール、FAXのいずれかにて下記の①から④の事項をお伝えください。
必要事項　①参加日②氏名(ふりがな)③電話番号④Eメールアドレス
申込先　「なごや環境大学」実行委員会事務局
Eメール:webinar@n-kd.jp　FAX:052-223-1223
Webからお申込みの場合は右側の2次元コードからアクセスしてください。
開催前日までに、事務局より視聴用URLをメールでお送りします。

第2回以降の講座はこちらでご覧いただけます。

エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

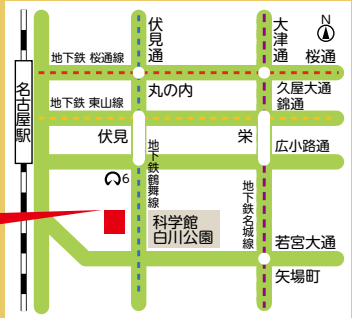
エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録できます。

エコパルなごや　登録

名古屋市環境学習センター
エコパルなごや

〒460-0008　名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階
地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩7分
■開館時間／午前9時30分 ～ 午後5時　■入館料／無料
■休　館　日／毎週月曜日　祝日の場合はその翌平日
年末年始　12月29日～1月3日

申込・問合せ先
TEL：052-223-1066　FAX：052-223-4199
http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/
E-mail：a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

エコパルなごや

（消防署があるビルの13階）